

社会資本総合整備計画														事後評価書													
計画の名称		羽曳野市立高鷺小学校区における子どもの安全対策・防災性の向上（その１）（防災・安全）																									
計画の期間		令和０２年度 ～ 令和０６年度（５年間）												重点配分対象の該当		○											
交付対象		羽曳野市																									
計画の目標		本計画は、羽曳野市北西部に位置する恵我之荘地区と高鷺地区の指定避難所である高鷺小学校を中心とした半径１km以内において、災害時の避難路の強化と通学路の安全性の向上を目的とし、高い事業効果を得るためハード、ソフト事業を組み合わせで行うものです。 事業内容は、ハード事業として、市道恵我之荘島泉線の歩行空間の確保を行う。 ソフト事業として、小学校の通学時間帯に地域住民による交通安全啓発活動を行い、交通事故の減少を目指す。																									
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		35		Ａ		35		Ｂ		0		Ｃ		0		Ｄ		0		効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0		％	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	コンクリートブロック塀の点検で不適合となった箇所の改善 安全確認がされた通学路を登下校できる児童数の増加 （児童数） 0人から153人	0人	0人	153人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	－	－	都市防災総合推進事業（ 羽曳野市立高鷺小学校区 ）	避難路の整備	羽曳野市	■	■	■	■	■	35		－	
											小計						35			
											合計						35			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
羽曳野市土木部道路公園課にて実施	令和7年12月
	公表の方法
	羽曳野市ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	災害時の避難路の強化と通学路の安全性の向上を目的として、市道恵我之荘島泉線道路改良工事をおこなったことにより、点検で不適合となったコンクリートブロックを撤去したため、安全に登下校できる児童数が増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	市道恵我之荘島泉線道路改良工事をおこなったことにより、歩車道を分離（歩行空間を確保）し、児童の安全が整備区間において確保された。
○特記事項（今後の方針等）	
高鷲小学校区において、狭小な幅員が多い市道が多く、ハード面で部分的に整備をおこなったが、今後を避難訓練等を実施し、災害時における避難の確実性や、児童及び地域住民の安全安心を確保できるようソフト面の向上にも努める。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	153人	目標設定時点（R1末）から事後評価時点（R6末）で登下校している児童数が減少したため
	最 終 実績値	125人	